

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年4月18日

【評価実施概要】

事業所番号	270201429		
法人名	株式会社介護サポート		
事業所名	グループホームフリージア		
所在地 (電話番号)	〒036-8103 青森県弘前市川先1丁目6番地10 (電話) 0172-28-4165		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 21年 3月 11日	評価確定日	平成 21年 4月 18日

【情報提供票より】(平成21年2月20日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 7月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 7人, 非常勤 人, 常勤換算	5.9人

(2) 建物概要

建物構造	木造2階建て造り		
	2階建ての 1階 ~ 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000 円	その他の経費(月額)	9,000~冬期12,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(2月20日現在)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名
要介護3	3 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢 平均	79 歳	最低	58 歳
		最高	91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	坂本アレルギー呼吸器科医院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な住宅地の一角にあり、近くには公園や私立高校があり、環境的に恵まれている。春から秋にかけては、公園への散歩を通して季節感を感じることが出来る。建物は2階建てになっているが、入居者の能力に応じて居室が提供され、安全面に配慮されたつくりになっている。同じ建物内に、居宅支援事業所・訪問介護事業所があり、職員間の連携もよく、入居者にとっても希望をより多く叶えられるようになっている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	今までの理念に地域密着型サービスとしての理念を加え、地域に根ざしたグループホームにしようとしている様子が伺える。また、災害対策についても、今までの訓練計画に、地域住民にも参加していただけるように、町内会長さんと相談し、夜間訓練の予定を計画中である。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	管理者が自己評価を作成後、全職員で確認し、また意見を出し合い再作成し完成させている。自己評価することで、職員は気づきが得られ、サービス向上につなげている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	2ヶ月に一回の開催により、ご家族、民生委員、町内会長、市担当者に評価結果の報告をし、参加者からは、いろいろなご意見を伺い、開かれたホームとして改善すべきことは改善し、サービス向上に結び付けている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	玄関に苦情ポストを設置し、また、面会時や月一回のホーム便りの送付時、電話の都度報告など、機会あるごとにご意見を伺い反映するようにしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ゴミ出しや雪片付け、散歩・回覧板を持っていくなど、日常生活の中で近隣の方々との交流を大事にし、町内会の行事への参加を呼びかけてもらうなど良好な関係を築かれている。また、お隣が町内会長さん宅でもあり、毎日のように顔を出してくれ、相談に乗ってくれている。同事業所内の居宅支援・訪問介護事業所があることで地域住民が気軽に相談でき交流が来ている。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	前回の外部評価では地域密着型サービスとしての理念構築が課題だったが、今回は理念の中に取り入れられ、文章化している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員同志で理念を振り返り、理念にそった入居者個々の尊重や朝の挨拶からはじまる地域との交流などを通じて実践している。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	グループホームが住宅地にあり、ゴミだしや冬の雪捨ての際に挨拶をすることが日常的に行われている。地域の方から介護の相談を受けたり、町内会長さんが毎日のようにホームに顔を出してくれたりしている。回覧板などは入居者と一緒に持っていくなど、交流を通して認知症の理解を得られるように努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>自己評価については全職員で確認し、話し合うことで職員の気付きにつながっている。外部評価の結果についても改善に向け、取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2ヶ月に一回の開催により、ご家族、民生委員、町内会長、市担当者に評価結果の報告をし、参加者からは、いろいろなご意見を伺い、開かれたホームとして改善すべきことは改善し、サービス向上に結び付けている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議にも市担当職員も参加してくれているので、情報の交換をしたり、電話での確認や相談などができていてサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>現在も利用されている方が2名おり、社協の協力を得ながら、職員は権利擁護の制度を理解し、活用できるよう支援している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待防止法のマニュアルを作成している。また、職員間で日々話し合いをし見守りの回数を増やすとともに入居者に対する声がけなどにも十分注意し、職員間で注意し合っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>見学していただきながら、不安解消のため、問題点などを伺い理解納得の上、契約をしていただいている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>月1回グループホーム便りを送付している。以前は個人の写真などを添付していなかったが、家族の中には遠方の方もあり、ご家族・本人の了解を得て写真を添付し状況をお伝えしている。金銭に関しても領収書を添付し月一回報告している。健康状態については、変化時や受診時に、都度電話連絡している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関に苦情処理ポストの設置をしている。家族の面会時などは常に意見、要望をうかがっている。希望、意見などが聞かれた際には、職員間で話し合い、サービス向上に反映できるように努力されている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動に関しては、同業所内で行われているが、回数的には少なく、顔なじみの職員が配置されるようにしている。家族へも便りや面会時などで伝えている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ホーム内、外の研修に参加し、参加者は復命書を提出し、内容を確認しそれによる勉強会も行っている。その日に休日の職員には申し送りを通し伝達している。ホーム外の研修には、職員の調整をしながら、参加を図っている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	月1回の会議や小会議3回、管理者同志では連絡を取り合い情報の交換をし、会議の内容はすべて他職員へも報告している。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者が自宅で使用していた馴染みのものを持ち込むよう勧めるとともに、声がけを多くし、安心できるように努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	その人に合った生活をしていただくことを基本に、ご本人より体験談を聞いたり、日ごろのニュースなどを伝えたり、話し合ったりしながら、信頼関係を築くようにしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居者、家族の意見を取り入れているが対応が困難な場合には、職員間での話し合いを多く持ち、入居者本位の考えを尊重しながら、家族への現状を報告しサービスに結び付けている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人、家族の意見、要望を確認し、本人が少しでも安心して暮らせるよう、職員間でも十分話し合い、検討しながら計画書を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	個々の計画書は6ヶ月ごとに見直しをし、状態変化時にはすぐに見直しができる体制にしている。職員間で意見を出し合い計画書作成に取り組んでいる。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同敷地内に事業所を併設しているため、職員が手薄になったりする場合、ヘルパーさんが手伝ったり、外出や受診希望されている方には付き添い介助などで協力も得られている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医への受診を入居前と同じく継続している。入居者が通院の際は家族へ受診結果、状態報告を行っている。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人・家族、医師との話し合いを持ちながら、希望を叶えられるように、方針を職員全体で共有しながら取り組んでいる。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人的な会話を持つときは、他入居者にも配慮しながら、周囲に聞こえないように配慮し、記録物等も入居者や外部の人の目に触れないように保管している。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の趣味や生活歴の中から情報を得、入居者の個々の生活にそって、外出したり、塗り絵をしたりしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>本人のペースを尊重しながら、食事の準備や盛り付けを一緒に行っている。また、職員と会話をしながら食器の片付け、食器を拭くなど一緒に行っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>入浴は毎日入れるような体制があり、入居者の希望により入浴を行っている。入浴しない方には、清拭・足浴にて対応している。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>個々の趣味や特技を生かし生活への楽しみを持てるよう支援している。回覧板を近隣へ一緒に持っていったり、夏場などは、プランターへの水をあげたり、自分の役割を持った活動面の支援をしている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>好きなお菓子を近所の菓子店へ買い物に出かけたり、また春から秋までは近くの公園へ散歩を楽しんだりしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束のマニュアルを作成し、職員全体で把握した上で、見守りの回数を多くするようにし、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>日中は、施錠はしていない。同法人事業所内との協力体制のもと見守りをしている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>前回の改善項目の中に、地域住民に参加していただき避難誘導等も行ってもらおうようにとの事で、夜間を想定して、町内会長さんにも相談し、計画中で実施も近い状態である。</p>		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>目で見る楽しみとなるよう色合いに配慮するとともに、バランスの取れた食事で、摂取量のチェック表の作成もされている。週1回は入居者の希望も取り入れている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>法人内での研修も行っている。手洗い、うがいを徹底するほか、予防接種も必ず入居者、職員も実施している。感染症についてのマニュアルを作成し、その都度確認し対応している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>台所からは、入居者の様子がすぐに見渡せるようになっており、居間にはソファが置かれ、くつろぐことが出来ている。入居者の作品である塗り絵も飾られ、音楽が流れ、窓も大きく外の景色や人通りを見ることができて、生活感が感じられる。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>箆笥・衣装箱を持込んだり、孫の写真を飾ったりする他、居室入り口には、入居者自身の手書きの表札が飾られ「自分の居室」の雰囲気が出ている。</p>		

 は、重点項目。